

デザイン理論&方法論の新展開

2006年7月14日(金)、慶應義塾大学工学部矢上キャンパスを会場として、「デザイン理論&方法論の新展開」が開催されました。

本活動では、21世紀のデザインにおけるデザイン理論・デザイン方法論の新展開をメインテーマとしました。デザイン分野の教育・研究者、デザイナー、学生ら約170名の参加者があり、吉田和夫先生(慶應大)、前野隆司先生(慶應大)によるデザイン方法の生命化に関するご講演、筑波大・拓殖大・武蔵工業大・慶應大の学生による研究発表(計11件)およびポスタープレゼンテーション(計36件)を通じ、活発な議論が行われました。また、懇親会では、ポスタープレゼンテーションにおける優秀発表賞(計10件)の表彰が行われるとともに、参加いただいた多くの方々との交流を深めることができました。

以上の活動を通じ、参加者の間で、デザイン理論・方法論に関する議論および情報交換を図ることができました。



講演会場の様子



ポスタープレゼンテーションの様子